

# [WINSTAR CAD Ver.3]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

〔参考〕 新設コマンド:126、 拡張、機能強化コマンド:73

## 【ファイル】メニュー

区分記号 ○:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

メニュー名	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
新規作成	用紙サイズに制限がありません。作成者氏名を入力できます。	○
図面を開く	ZEN形式のファイルは拡大サイズのグラフィック表示ができます。	○
追加読み込み	ZEN形式では図面メモを含んで保存します。	○
図面の合成	旧形式のZMN・ZUM形式の読み込み保存もできます。	○
図面削除	DWG、SFC、P21、JWW、AI、NCファイル(Gコード形式)形式を追加しました。	○
名前を付けて保存	DWG・DXF読込はコンバート精度を向上させ、文字間隔の保持も可能になりました。	○
DWG・DXFファイルを開く	DWG・DXF読込保存オプション機能を追加し、以下の機能を追加しました。 ペン番号→色番号(ACI)指定	◎
DWG・DXFファイルを現尺で開く	[設定]-[図面保存オプション]から以下の機能を移動し、DWG・DXF読込保存オプション機能としてファイル操作時に各コマンドで指定できるようにしました。	◎
DWG・DXFファイルで保存	DWG,DXF保存時文字幅を82%に/DWG,DXF読込保存時WINSTARCADVer5の形式で/DWG,DXF読込保存時 1バイト文字を2バイト文字に変換しない	◎
DWG・DXFファイルを三面図で開く	DWG・DXF形式の3D図面を三面図に展開して開くことができます。 DWG・DXF読込保存オプション機能も対応しています。	◎
シンボル読み込み	[シンボルの呼び出し]の名称を変更しました。 読み込みシンボルをイメージ表示できます。2点の指定により回転角度を指定できます。 読み込んだシンボルをグループとして扱うことができます。	○
シンボルの新規作成	用紙サイズに制限がありません。	○
シンボルを開く	[シンボルの変更]の名称を変更しました。	
EXCELファイルを開く	MS-ExcelのXLS形式、XLSX形式のファイルを開くことが可能になりました。 ※ファイル形式に対応するMS-Excelがインストールされていることが必要です。	◎
PDFファイルを開く	PDFファイルを開くことが可能になりました。	◎
PDFファイルで保存	PDFファイルに保存することが可能になりました。	◎
テキスト読み込み	テキスト読み込み時にエディタ画面で複数行の編集や文字サイズ設定が可能になりました。	○
JPG・BMP読み込み(倍率)	JPEG・ビットマップデータを、倍率を指定してアクティブ状態となっているウィンドウの作図画面に追加の形で読み込みます。 画像データを原寸で読み込むことが可能です。	◎
JPG・BMP読み込み(対角)	JPEG・ビットマップデータを、範囲枠を指定してアクティブ状態となっているウィンドウの作図画面に追加の形で読み込みます。	◎
印刷プレビュー	印刷前の状態をプレビュー画面で確認できます。	◎
印刷	「自動用紙設定」機能を追加しました。プレビューボタンを追加しました。 特定のペンのみカラーで出力できるようになりました。 プリセット機能により印刷条件を保存しておくことが可能になりました。	○
プロッタ出力	接続先で、USB・ネットワークへの対応が可能になりました。	○
ベクトル化ツール	JPG・BMPの画像ファイルからベクトルデータを抽出できるツールを持たせました。	◎
メニュー名	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
ユーティリティ起動	ユーティリティを起動します。 以下のメニューが追加されています。 連続ファイル変換/ユーザー設定の保存/ユーザー設定の取り込み/シンボル管理(名前のソート) 「連続印刷」でDWG、SFC、P21、JWW、AI形式を追加しました。 「自動用紙設定」機能を追加しました。 「連続ファイル変換」で双方向形式としてDWG、SFC、P21、JWW、AI形式を追加しました。PDFファイルへの変換を追加しました。 DWG・DXFは2000、R14、R13形式に対応しました。 DWG・DXFファイルの関連付けができるようになりました。 ZEN・ZMN・ZUMファイルはインストール時に自動的に関連付けされます。	◎

## 【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

メニュー名	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
アンドゥ	設定により無制限アンドゥが可能です。	○
リドゥ	設定により無制限リドゥが可能です。メニューとして独立	◎
グループ化	指定した要素をグループ化します。	◎
グループ確認	グループ要素の内容を画面上で確認します。	◎
グループムーブ	指定したグループ要素を画面上に仮表示しながら平行移動します。	◎
グループコピー	指定したグループ要素を画面上に仮表示しながら平行複写します。	◎
グループローテートムーブ	指定したグループ要素を画面上に仮表示しながら回転移動します。	◎
グループローテートコピー	指定したグループ要素を画面上に仮表示しながら回転複写します。	◎
クリップボードへコピー	[編集]-[複写]の名称を変更 画面表示色に関係なくモノクロに指定でき、太さも指定できます。	○
ストックムーブ	指定された範囲部分をWINSTAR CADのストック用クリップボードに移動します。 貼り付けの際にイメージ表示が可能です。	◎
ストックコピー	[編集]-[複写]から独立 指定された範囲部分をWINSTAR CADのストック用クリップボードに複写します。 貼り付けの際にイメージ表示が可能です。	○
ストックローテートムーブ	指定された範囲部分をWINSTAR CADのストック用クリップボードに移動し、画面上に仮表示しながら回転移動します。	◎
ストックローテートコピー	指定された範囲部分をWINSTAR CADのストック用クリップボードに複写し、画面上に仮表示しながら回転複写します。	◎
ストックセット	[編集]-[貼り付け]の名称変更、ストック用クリップボードの内容の貼り付け。 貼り付けの際にイメージ表示が可能です。	○
ホールド	指定された範囲部分をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。	◎
ホールドグループ	指定したグループ要素をWINSTAR CADのホールド用クリップボードに蓄えます。	◎
ホールドセット	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら貼り込みます。	◎
ホールド拡大縮小	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら、縦横比を保持したまま拡大縮小した状態で貼り込みます。	◎
ホールド変形	WINSTAR CADのホールド用クリップボードの内容を作図画面上に仮表示しながら、指定の範囲枠内に縦横変倍の変形した状態で貼り込みます。	◎

## 【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

メニュー名	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
用紙変更	「作成者氏名」の項目が追加されています。	○
縮尺の一時変更	一時変更した縮尺で図面を保存することが可能です。	○
用紙の最適配置	DWG・DXFファイルなどを読み込んだ際に、正常に表示されない場合に有効なデータを作図画面に配置することができます。	◎
ペン線幅設定	ペン色ごとに作図画面上での線幅を設定します。	◎
線種パターン設定	破線、1点鎖線、2点鎖線、点線、長破線、1点鎖線A、2点鎖線Aの線種パターンを設定します。	◎
カーソル設定	ユーザー様独自のスタイルの作図カーソルを設定します。	◎
範囲枠拡大	最大拡大倍率10,000倍	○
任意倍率	最大拡大倍率10,000倍	○
図面情報	以下の項目が追加されています。 新規作成日時/最終更新日時/作成者氏名	○
画面情報	以下の項目が追加されています。 ドラッグ&ドロップスクロール表示/シンボルセットのイメージ表示/線幅と線種の実寸表示/無制限アンドゥ/適時画面表示をリフレッシュ	○
スナップ	スナップ先の検索範囲を指定できるようになりました。	○
ツールバー	ツールバーを固定できるようになりました。 [作図]-[ペイント]で使用するパレット色を指定するアイコンを追加しました。	○

【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
直線	2点角度線	指定された2点を結んだ仮想線と指定の角度をなす直線	◎
	線長と方向	傾斜線の長さ、カーソルによる方向指定の直線	◎
	指定勾配線	指定された2点を結んだ基準線と指定の勾配をなす直線	◎
	中点と線長と角度	直線の中点を基点とする指定長さ、角度の直線	◎
	点	指定の位置に点を作図	◎
拡張直線	目盛付軸	目盛値の作図機能を追加しました。	○
	ダイヤル	ロータリースイッチ用目盛付きダイヤルを作図します。	◎
	波形線	半円が連続した状態の様な波形線を作図します。	◎
	つる巻線	コイルのような形状のつる巻線を作図します。	◎
	ジグザグ線	破断面などを図示するためのジグザグ線を作図します。	◎
	切断線	断面図を作図する際の断面位置を表す切断線を作図します。	◎
	記号付特殊直線	配線、配管図などで使用される図記号をセットした直線を作図します。記号の配置は個数、または間隔による指定が可能です。	◎
中心線	対角中心線	対角の指定による十字中心線、中心線のペン、線種の指定が可能	◎
	対角線	対角の指定により対角線状の中心線を作図します。	◎
垂線	点から線分上	対象線として補助線の指定が可能	○
	2点指定	対象線として補助線の指定が可能	○
	直交線	対象線として補助線の指定が可能	○
	通過点と2点	対象線として補助線の指定が可能	○
平行線	通過点指定	対象線として補助線の指定が可能	○
	2点指定	対象線として補助線の指定が可能	○
	間隔指定	間隔指定による指定線分に対する平行線	◎
	2点と間隔	指定された2点を結んだ仮想線に対する間隔指定の平行線	◎
枠・多角形	四角枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	逆R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	C付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	切欠枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	小判枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	正多角形(辺長さ)	角数と辺の長さ指定による正多角形	◎
	二等辺三角形	底辺と高さ指定による二等辺三角形	◎
	直角三角形	底辺と高さ指定による直角三角形	◎
	ひし形	横長さと縦長さの指定によるひし形	◎
	ひし形(辺長さ)	辺の長さ、扇角度の指定によるひし形	◎
二重枠	四角枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	逆R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	C付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	切欠枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	小判枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角四角枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角逆R付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角C付枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角切欠枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	対角小判枠	「枠の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	円	中心と半径	「円の中心表示」に「付属中心線」を追加、連続作図機能を追加
中心と直径		「円の中心表示」に「付属中心線」を追加、連続作図機能を追加	○
中心と仮想点		中心と指定された仮想点位置とのX幅、またはY高さを半径とする円を作図します。	◎

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
円	同心円	「円の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	二重円	中心と半径、厚さ指定による二重円	◎
円弧	中心と半径	「円弧の中心表示」に「付属中心線」を追加	○
	3点(通過点)	始点、終点、通過点の3点指定による円弧	◎
	中心と始点と終点	中心点と円周上の通過点、始点と終点の指定による円弧	◎
曲線	Bスプライン	指定点を通る、Bスプライン関数による自由曲線を作図します。	◎
	ベジエ曲線	始点と終点をなめらかに結ぶ自由曲線を作図します。	◎
	方形雲形	対角四角枠の指定により、四角ベースの雲形を作図します。	◎
	円形雲形	中心と円周点の指定により、円ベースの雲形を作図します。	◎
	楕円形雲形	対角四角枠の指定により、楕円ベースの雲形を作図します。	◎
文字	複数行文字入力	エディタ画面で複数行の入力や編集ができます。	◎
	フォント変更	TrueType、OpenTypeフォントの場合、プロポーショナル対応判定を自動で行います。 前回変更したフォント名を保持しておくことができるようになりました。	○
	ベクトル化	フォントが持っている状態より太く、あるいは細くした状態でベクトル化することが可能になりました。	○
	文字列検索	作図画面中から文字を検索して内容を修正することができます。	◎
	文字列置換	作図画面中から文字を検索して指定文字に置換することができます。	◎
	表作成	罫線を含む部品表を作図できます。CSVファイルの読み込み・保存が可能。	◎
	文字レイアウト	範囲枠指定による複数文字列のレイアウトを修正することができます。	◎
	文字の再配置	入力済みの複数の文字列を1行に合成して、あらためて配置し直すことができます。	◎
	複数行文字編集	入力済みの複数の文字列をエディタ画面に取り込み、複数行の編集や1行の文字数調整などができます。	◎
文字一括編集	図面中の全ての文字列を抽出し一覧表示します。	◎	
ハッチング	閉鎖領域指定	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。	○
オフセット	閉鎖領域指定	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。	○
	範囲枠指定	複数の閉鎖ループ線に対して、一括でオフセット線を作図します。	◎
ペイント	要素指定	指定された要素による閉ループ内の塗りつぶしをします。	◎
	閉鎖領域指定	指定された閉鎖領域内の塗りつぶしをします。	◎
補助線	十字補助線	[十字線]の名称を変更	
	水平補助線	[水平線]の名称を変更	
	垂直補助線	[垂直線]の名称を変更	
	要素間隔線	指定された要素と指定間隔の補助線をセットします。	◎
	要素距離補助点	指定された直線の線長、円弧要素の弧長位置に補助点をセットします。	◎
	2点と間隔	指定された2点を結んだ仮想線と指定間隔の補助線をセットします。	◎
	要素角度線	対象線として補助線の指定が可能	○
	中心と半径	中心と半径指定による円の補助線をセットします。	◎
	中心と円周点	中心と円周点指定による円の補助線をセットします。	◎

## 【寸法】コマンド

区分記号 ○:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
指示線	引き出し注釈線	注釈文字部分のセット位置を指定することが可能になりました。	○
	引き出し注釈線(折1)	引き出し線を1回折れた状態で注釈線をセット	◎
	引き出し注釈線(折2)	引き出し線を2回折れた状態で注釈線をセット	◎
	引き出し片矢注釈線	片矢と注釈文字だけの下線部を持たない注釈線を作図します。	◎
	要素引出寸法線	狭小部分のための引き出し注釈線スタイルの寸法指示線	◎
指示線	穴径引出寸法線	小さな丸穴のための引き出し注釈線スタイルの寸法指示線	◎
	風船	文字のカウントアップ機能拡張、文字サイズの指定可能	○
	風船2段記入	引き出し線付き風船の入力、風船内を上下2段の状態にセット	◎
	XY座標値	注釈文字部分のセット位置を指定することが可能になりました。	○
寸法線	面取半径寸法線	[面取寸法線]の名称を変更、円弧に対する半径寸法線機能を追加	○

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
引き出し寸法線	水平垂直寸法線	引出寸法線を仮表示する水平垂直方向の寸法線、引出点を先に指定ダイアログボックスを表示せずに直接セット	◎
	水平垂直引出寸法線	引出寸法線を仮表示する水平垂直方向の寸法線、引出点を先に指定	◎
	2点平行引出寸法線	引出寸法線を仮表示する2点に平行な寸法線、引出点を先に指定	◎
	要素平行引出寸法線	引出寸法線を仮表示する指定要素に平行な寸法線、引出点を先に指定	◎
	円弧要素引出寸法線	弧長を示す引き出し寸法線を作図します。	◎
	傾斜寸法線	傾斜図形に対する寸法線を作図します。	◎
	傾斜連続寸法線	傾斜図形に対する連続引き出し寸法線	◎
	水平対称多径寸法線	直径指示の水平方向の片矢寸法線を連続的に作図します。	◎
	垂直対称多径寸法線	直径指示の垂直方向の片矢寸法線を連続的に作図します。	◎
寸法値	寸法値に枠を付る	指定の寸法値を長方形の枠で囲みます。	◎
記号	幾何公差記号	幾何公差記号のみをセット	◎
	公差付き形体記号	公差付き形体記号をセット、幾何公差記号を付けてセット可能	◎
	データム記号	データム記号をセット、幾何公差記号を付けてセット可能	◎
	面の肌記号	面の肌記号をセット	◎
計測	範囲枠内合計線長	範囲枠により指定された全要素の線分の合計長さ計算	◎
	面積	閉鎖図形線の認識を1000要素まで可能なように拡張しました。	○

## 【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
交点間削除	_____	連続している線分や単一の線分の一点を指定するだけで、交点と交点の間だけを削除します。	◎
複写	基準線指定複写	対象要素を指定の基準線に沿って等倍回転複写	◎
	2点方向指定複写	対象要素を2点指定による角度で等倍回転複写	◎
	2点指定補正複写	任意の角度・サイズで作図されている対象要素を、2点指定による角度・サイズに補正し、縮小拡大回転複写します。	◎
	角度補正複写	任意の角度の対象要素を、指定の角度に補正し等倍回転複写 傾いている図形を簡単に水平、あるいは垂直に補正して複写が可能	◎
	距離補正複写	任意のサイズの対象要素を、補正後のサイズを指定して拡大縮小複写 中途半端に倍率のかかっている図形を、指定サイズに補正して複写が可能	◎
	レイヤ間複写	対象要素を指定のレイヤ番号に等倍平行複写	◎
	レイヤシフト複写	複数のレイヤに展開されている対象要素を一括してシフト複写	◎
移動	基準線指定移動	基準線に円、円弧も指定可能	○
	2点方向指定移動	対象要素を2点指定による角度で等倍回転移動	◎
	2点指定補正移動	任意の角度・サイズで作図されている対象要素を、2点指定による角度・サイズに補正し、縮小拡大回転移動します。	◎
	角度補正移動	任意の角度の対象要素を、指定の角度に補正し等倍回転移動 傾いている図形を簡単に水平、あるいは垂直に補正して移動が可能	◎
	距離補正移動	任意のサイズの対象要素を、補正後のサイズを指定して拡大縮小移動 中途半端に倍率のかかっている図形を、指定サイズに補正して移動が可能	◎
	レイヤ間移動	対象要素を指定のレイヤ番号に等倍平行移動	◎
	レイヤシフト移動	複数のレイヤに展開されている対象要素を一括してシフト移動	◎
雲形に変更	_____	すでに作図されている、直線・枠・円・楕円を雲形図形に変更します。	◎
角の修正	角の指定	コーナーになっていない2直線の修正可能	○
	辺の指定	コーナーになっていない2直線の修正可能	○
線分処理	基準線で一括処理	指定した側の対象線が残るよう機能拡張	○
	円弧・楕円弧の分解	円・円弧、楕円・楕円弧を微小直線による多角形に分解します。	◎
	円弧に合成	微小直線による多角形を認識範囲内で円弧要素に合成します。	◎
パラメータの変更	_____	レイヤ番号の指定を追加	○
ペン・線種の変更	ペンの一括変更	対象要素のペンを一括して、指定のペンに変更	◎
伸縮	直線・円弧の伸縮	直線、円弧の長さを、端点を基準にして指定値分だけ伸縮	◎
	変形・範囲枠指定	範囲枠指定による、縦横変倍の変形をします。	◎

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
伸縮	変形・数値指定	倍率指定による、縦横変倍の変形、回転をします。	◎

## 【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化、△:従来コマンドから分離、独立

メニュー名	新設、機能拡張内容、旧名称	区分
寸法線	以下の項目が追加されています。 公差文字の比率/公差のペン番号/公差±同値時の位置/カンマ桁区切り	○
寸法値フォント	寸法値に使用するフォントの種類を設定します。 TrueType、OpenTypeフォントの場合、プロポーショナル対応判定を自動で行います。 標準フォントの場合も、プロポーショナル状態での配置ができます。	◎
文字フォント	TrueType、OpenTypeフォントの場合、プロポーショナル対応判定を自動で行います。 標準フォントの場合も、プロポーショナル状態での配置ができます。 [設定]-[フォント]の名称を変更しました。	○
付属中心線	付属中心線のレイヤ番号、ペン種、線種を設定します。	◎
その他	以下の項目が追加されています。 面の肌記号高/面の肌文字高/幾何公差記号高/幾何公差文字高/仕上・面の肌・幾何公差記号ペン番号/仕上・面の肌・幾何公差記号レイヤ番号/円弧・楕円弧の分解精度/雲形最小半径/雲形最大半径/雲形ペン番号	○
レイヤ管理	「全ペンレイヤOFF」ボタンが追加されています。	○
レイヤ名の変更	アクティブな図面のレイヤ名の変更を行ないます。	◎
ベースレイヤ名の変更	新規に作成する図面に付与するレイヤ名を設定します。	◎
対象要素の指定モード	「グループ」のモードが追加されています。	○
図面保存オプション	以下の項目が追加されています。 ZMN形式を主体に使用する 以下の機能を移動し、DWG・DXF 読込保存オプション機能としてファイル操作時に各コマンドで指定できるようにしました。 DWG,DXF保存時文字幅を82%に/DWG,DXF読込保存時WINSTARCADVer5の形式で/DWG,DXF読込保存時 1バイト文字を2バイト文字に変換しない	○
カスタムメニューの設定	特定のコマンドを右ボタンメニューに登録します。	◎
右ボタンメニューの設定	右ボタンメニューの表示項目を設定します。	◎
マウスホイールの設定	マウスホイールの動作を設定します。	◎
パレット管理	[作図]-[ペイント]機能で指定できる色の組み合わせを設定します。	◎

## 【その他】

項目	機能内容
自動スナップ機能	既存図形の端点、交点、中点等を自動検索し、カーソルがそのポイント上に吸着される機能です。
文字形式	ユニコード対応になりました。
図面保存形式	ZEN形式が標準形式となります。
DWG・DXFファイル	読み込み、保存とも[AutoCAD]2000/R14/R13/R12対応です。 レイヤ名にも対応しています。 文字間隔を保持したまま保存できるようになりました。 作図画面中の半角文字を半角文字のまま保存できるようになりました。 さらに、コンバートの精度を向上させました。
ペン種	12種類のペン種が使用できます。
線種	点線、長破線、1点鎖線A、2点鎖線Aの4つの線種が拡張され、8種類の線種が使用できます。
ポップアップメニュー	以下の項目が追加されています。 リドゥ/ズームイン(カーソルを中心に2倍に拡大表示)/ズームアウト(カーソルを中心に1/2倍に縮小表示) /レイヤ管理/対象要素指定の各モード(コマンド選択時)
状態表示のツールバー	ペン1~12、レイヤ1~12を表示するようになりました。
寸法値	「キリ、リーマ」などの文字の追加が簡単にできるようになりました。
コマンド分類	[作図]→[文字・記号]を[作図]→[文字]に変更 [仕上記号]・[線上仕上記号]は、[寸法]→[記号]へ移動
フォント	OpenTypeフォントへ対応しました。 図面中の最大フォント数が50になりました。
標準フォント	全面的に標準フォントを作成しなおしました。 よりスマートで見やすい文字フォントになっています。

項 目	機能内容
マウスホイールへの対応	マウスホイールを回転させることで、画面の拡大縮小、上下左右のスクロールが可能になりました。
右ボタンメニューの充実	マウスの右ボタンをクリックすると表示される右ボタンメニューを充実させました。コマンド履歴や、よく使用するコマンドを登録、ペン線種を選択も可能になりました。
文字入力の各ダイアログボックス	文字を入力する各ダイアログボックスで、以前に入力した文字内容を20個まで保持しておくことが可能になりました。
はめ合い公差	JISで規定されている、穴・軸のはめ合い公差の入力が簡単にできる選択方式に変更しました。全公差域、全等級が選択可能です。はめ合い公差が入力可能な寸法関係の全コマンドで使用可能です。